



## 2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月31日

上場会社名 ハリマ化成グループ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4410 URL [www.harima.co.jp](http://www.harima.co.jp)

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 吉弘

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経理グループ長 (氏名) 上辻 清隆

TEL 06-6201-2461

四半期報告書提出予定日 2023年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	22,596	1.9	372		238		138	
2023年3月期第1四半期	22,184	27.1	1,340	67.2	1,643	60.9	895	36.3

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 461百万円 (82.0%) 2023年3月期第1四半期 2,562百万円 (59.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	5.72	
2023年3月期第1四半期	35.57	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	94,770	40,284	39.0
2023年3月期	92,439	40,820	40.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 36,947百万円 2023年3月期 37,102百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		21.00		21.00	42.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		21.00		21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,200	3.6	1,200		1,050		900		37.19
通期	91,000	3.7	1,400		1,300		1,450		59.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	26,080,396 株	2023年3月期	26,080,396 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,878,064 株	2023年3月期	1,878,064 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	24,202,332 株	2023年3月期1Q	25,165,733 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(金額の表示単位の変更について)

当社の連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに变更いたしました。なお、比較を容易にするため、前第1四半期連結累計期間についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
参考資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、インフレの継続に加えて、ウクライナ情勢に起因するグローバルな原材料供給の制約、エネルギー価格の高騰などにより、不安定な状況が続きました。

日本経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症となり、行動制限の緩和によって経済活動が正常化しつつあるものの、原材料価格の高止まりや円安を背景とした物価上昇が経済活動に影響を及ぼしました。

このような環境下、当社グループの海外事業は、世界的な景気後退により欧米の粘接着剤用樹脂が低迷した他、中国の紙、板紙の生産量減少の影響を受け、売上高は前年同四半期に比べ減少しました。利益面は、エネルギー価格高騰などによる製造原価の上昇により、前年同四半期に比べ減少しました。

国内事業は、市場価格が上昇したこともあり、売上高は前年同四半期並みとなりましたが、利益面では製造原価の上昇により、前年同四半期に比べ減少しました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は225億9千6百万円となり、前年同四半期に比べ4億1千1百万円(1.9%)の増収となりました。

利益面では、エネルギー価格高騰などによる製造原価上昇もあり、営業損失は3億7千2百万円(前年同四半期は営業利益13億4千万円)となりました。経常損失は2億3千8百万円(前年同四半期は経常利益16億4千3百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億3千8百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益8億9千5百万円)となりました。

(前年同期間比)

(単位：百万円)

	当第1四半期(A)	前第1四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	22,596	22,184	411	1.9
営業利益 又は損失(△)	△372	1,340	△1,712	—
経常利益 又は損失(△)	△238	1,643	△1,881	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益 又は純損失(△)	△138	895	△1,033	—

当社グループの部門別経営成績の概況は次の通りであります。

① 樹脂化成品

(単位：百万円)

	当第1四半期(A)	前第1四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	5,201	4,695	506	10.8
営業利益 又は損失(△)	△66	58	△124	—

売上高は、市場価格が上昇したことにより52億1百万円と、前年同四半期に比べ5億6百万円(10.8%)の増収となりました。営業利益は原材料価格など製造原価の上昇により6千6百万円の営業損失(前年同四半期は営業利益5千8百万円)となりました。

- 塗料用樹脂は、春先の需要期に入り一般家庭や工場などの塗替え需要が前年同四半期並みに推移しましたが、売上高は原材料価格高騰分を販売価格へ転嫁できたことから、増加しました。
- 印刷インキ用樹脂は、商業用印刷や新聞などに使用されるインキの需要が前年同四半期に比べ減少しましたが、売上高は原材料価格高騰分を販売価格へ転嫁できたことから、増加しました。
- 合成ゴム用乳化剤は、タイヤ生産量は前年同四半期に比べ増加しましたが、合成ゴムの在庫調整の影響を受け、乳化剤の販売数量は前年同四半期に比べ減少しました。売上高は原材料価格高騰分を販売価格へ転嫁できたことから、増加しました。

② 製紙用薬品

(単位：百万円)

	当第1四半期(A)	前第1四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	5,338	5,532	△194	△3.5
営業利益	169	397	△228	△57.4

売上高は、53億3千8百万円と前年同四半期に比べ1億9千4百万円(△3.5%)の減収となりました。営業利益は、1億6千9百万円となり、原材料価格など製造原価上昇の影響を受け、前年同四半期に比べ2億2千8百万円(△57.4%)の減益となりました。

- ・紙力増強剤は、国内では、段ボール需要が前年同四半期に比べ減少し、中国においても、紙、板紙の生産量が前年同四半期に比べ減少したことにより、売上高は減少しました。
- ・サイズ剤は、国内では、新聞用紙、印刷・情報用紙の需要が低迷したことにより、売上高は減少しました。米国では、紙、板紙の生産量が前年同四半期に比べ減少しましたが、原材料価格高騰により市場価格が上昇したことから、売上高は増加しました。

③ 電子材料

(単位：百万円)

	当第1四半期(A)	前第1四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	2,794	1,852	942	50.9
営業利益	23	167	△144	△86.0

売上高は、はんだ材料事業の買収による事業拡大で27億9千4百万円と、前年同四半期に比べ9億4千2百万円(50.9%)の増収となりました。営業利益は2千3百万円となり、原材料価格高騰による影響およびはんだ材料事業の償却費増加で、前年同四半期に比べ1億4千4百万円(△86.0%)の減益となりました。

- ・はんだ付け材料は、事業買収により海外事業が拡大し、売上高は増加しました。
- ・熱交換器用ろう付け材料は、原材料価格高騰分を販売価格へ転嫁できたことから、売上高は前年同四半期並みに回復しました。
- ・半導体用機能性樹脂は、パソコン、スマートフォン需要の落ち込みにより、売上高は減少しました。

④ ローター

(単位：百万円)

	当第1四半期(A)	前第1四半期(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
売上高	8,308	9,611	△1,303	△13.6
営業利益 又は損失(△)	△422	929	△1,352	—

売上高は、世界的な景気後退に伴う需要減少により、83億8百万円と、前年同四半期に比べ13億3百万円(△13.6%)の減収となりました。営業利益は、エネルギー価格の高騰や世界的なインフレの影響で製造原価が上昇したことにより、4億2千2百万円の営業損失(前年同四半期は営業利益9億2千9百万円)となりました。

- ・粘接着剤用樹脂の分野では、世界的な景気後退に伴う通販市場の低迷や顧客での在庫調整により、宛名用ラベルシールに使用される粘着剤用樹脂の需要が減少し、また、路面標示塗料用樹脂の需要も低迷したことから売上高は減少しました。
- ・印刷インキ用樹脂の分野では、情報のデジタル化を背景に需要の低迷が継続する中、景気後退の影響もあり、主に欧州、北米での販売が減少し、売上高は減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	2023年6月末(A)	2023年3月末(B)	増減額(A-B)	増減率(%)
流動資産合計	51,342	49,791	1,550	3.1
固定資産合計	43,428	42,647	780	1.8
資産合計	94,770	92,439	2,331	2.5
流動負債合計	45,773	41,656	4,116	9.9
固定負債合計	8,712	9,961	△1,249	△12.5
負債合計	54,485	51,618	2,867	5.6
純資産合計	40,284	40,820	△536	△1.3
負債純資産合計	94,770	92,439	2,331	2.5
自己資本比率(%)	39.0	40.1	—	△1.1

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前期末に比べ23億3千1百万円増の947億7千万円となりました。増減の主な内容は以下の通りです。

(流動資産) 受取手形及び売掛金が2億4千5百万円増加し、商品及び製品が4億7千1百万円増加しております。

(固定資産) 投資有価証券が3億8千5百万円増加しております。

(流動負債) 支払手形及び買掛金が28億6千1百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金が13億6千1百万円増加しております。

(固定負債) 長期借入金が11億8千5百万円減少しました。

(純資産) 利益剰余金が6億4千6百万円減少したことにより純資産は5億3千6百万円減少し、総資産が増加したことにより、自己資本比率は39.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループにおけるローター事業の世界的な景気後退に伴う需要減少により、売上高の減少が見込まれますので、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益は、第2四半期累計期間、通期とも前回の予想を下回る見込みとなりました。

なお、第2四半期累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日)、通期(2023年4月1日から2024年3月31日)の連結業績予想につきましては、本日(2023年7月31日)付で開示しております「第2四半期連結累計期間業績予想と通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で数値を修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,300	5,883
受取手形及び売掛金	22,313	22,559
商品及び製品	8,280	8,751
原材料及び貯蔵品	10,646	10,656
その他	2,353	3,586
貸倒引当金	△103	△95
流動資産合計	49,791	51,342
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,452	8,471
機械装置及び運搬具（純額）	8,626	8,769
その他（純額）	10,039	10,096
有形固定資産合計	27,118	27,336
無形固定資産		
顧客基盤	4,046	3,999
その他	1,181	1,190
無形固定資産合計	5,227	5,190
投資その他の資産		
投資有価証券	8,966	9,352
退職給付に係る資産	—	23
その他	1,348	1,538
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	10,301	10,900
固定資産合計	42,647	43,428
資産合計	92,439	94,770

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,292	13,153
短期借入金	18,349	18,413
1年内返済予定の長期借入金	7,099	8,460
未払法人税等	255	148
役員賞与引当金	96	111
訴訟損失引当金	492	492
その他	5,071	4,992
流動負債合計	41,656	45,773
固定負債		
長期借入金	6,185	5,000
長期預り保証金	500	500
役員退職慰労引当金	14	15
退職給付に係る負債	89	—
資産除去債務	39	39
その他	3,132	3,157
固定負債合計	9,961	8,712
負債合計	51,618	54,485
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,012	10,012
資本剰余金	9,748	9,748
利益剰余金	19,015	18,369
自己株式	△1,793	△1,793
株主資本合計	36,983	36,337
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51	202
為替換算調整勘定	150	485
退職給付に係る調整累計額	△83	△77
その他の包括利益累計額合計	118	610
非支配株主持分	3,717	3,336
純資産合計	40,820	40,284
負債純資産合計	92,439	94,770



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)
売上高	22,184	22,596
売上原価	16,921	18,489
売上総利益	5,262	4,107
販売費及び一般管理費	3,922	4,479
営業利益又は営業損失 (△)	1,340	△372
営業外収益		
受取利息	16	58
受取配当金	47	44
不動産賃貸料	9	9
為替差益	0	—
持分法による投資利益	303	157
その他	56	48
営業外収益合計	433	317
営業外費用		
支払利息	70	83
為替差損	—	68
その他	60	32
営業外費用合計	131	184
経常利益又は経常損失 (△)	1,643	△238
特別利益		
投資有価証券売却益	—	80
特別利益合計	—	80
特別損失		
投資有価証券評価損	42	—
特別損失合計	42	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	1,600	△158
法人税、住民税及び事業税	275	129
法人税等調整額	322	△176
法人税等合計	598	△47
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,002	△110
非支配株主に帰属する四半期純利益	107	27
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	895	△138

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月 1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,002	△110
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△163	150
繰延ヘッジ損益	△56	—
為替換算調整勘定	1,781	415
退職給付に係る調整額	△0	5
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	1,560	572
四半期包括利益	2,562	461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,240	353
非支配株主に係る四半期包括利益	322	107

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1)外部顧客に 対する売上高	4,695	5,532	1,852	9,611	21,692	492	22,184	0	22,184
(2)セグメント 間の内部売上 高又は振替高	72	84	—	260	417	46	464	△464	—
計	4,768	5,617	1,852	9,872	22,110	538	22,648	△464	22,184
セグメント利益	58	397	167	929	1,553	13	1,566	△226	1,340

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	樹脂化成品	製紙用薬品	電子材料	ローター	計				
売上高									
(1)外部顧客に 対する売上高	5,201	5,338	2,794	8,308	21,642	955	22,598	△1	22,596
(2)セグメント 間の内部売上 高又は振替高	159	—	—	237	396	63	459	△459	—
計	5,360	5,338	2,794	8,545	22,039	1,018	23,057	△461	22,596
セグメント利益 又は損失(△)	△66	169	23	△422	△296	6	△290	△82	△372

(注1)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に「不動産管理事業」等を含んでおります。

(注2)セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整額等が含まれております。

(注3)セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2024年3月期 第1四半期決算短信  
別紙ご参考資料

1. 設備投資額

	2023/3期		2024/3期	
	第1四半期(実績)	通期(実績)	第1四半期(実績)	通期(計画)
連結	53.4億円	83.6億円	7.6億円	23.0億円

ヘンケル社より譲受資産含む。

2. 減価償却実施額

	2023/3期		2024/3期	
	第1四半期(実績)	通期(実績)	第1四半期(実績)	通期(計画)
連結	5.4億円	24.6億円	6.4億円	25.0億円

3. セグメント別売上高

	2023/3期		2024/3期	
	第1四半期(実績)	通期(実績)	第1四半期(実績)	通期(計画)
樹脂化成品	46.9億円	192.5億円	52.0億円	209.0億円
製紙用薬品	55.3億円	249.3億円	53.3億円	239.0億円
電子材料	18.5億円	92.4億円	27.9億円	112.0億円
ローター	96.1億円	387.9億円	83.0億円	310.0億円
その他	4.9億円	25.5億円	9.5億円	40.0億円
調整額	0.0億円	2.7億円	0.0億円	0.0億円
合計	221.8億円	945.1億円	225.9億円	910.0億円

4. 海外売上高

	2023/3期		2024/3期	
	第1四半期(実績)		第1四半期(実績)	
	金額	比率	金額	比率
南北アメリカ	51.0億円	23.0%	49.4億円	21.9%
欧州	42.4億円	19.1%	43.9億円	19.5%
アジア、オセアニア	41.0億円	18.5%	38.1億円	16.9%
合計	134.5億円	60.6%	131.6億円	58.3%